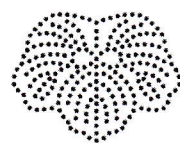


「うま伝」は高野の分身が、お客様のところへご挨拶に向う。という気持ちでお届けしています。



リゅうま伝

79号

2026年6月26日

高野 竜馬

「古窯(こよう)」

ゴルフデンウィーク、家族で米沢ハルーツ探しの旅をしてきた高野です。

江戸時代に住んでいた場所が家族写真も撮ったういながら米沢を巡りました。そして2泊3日で山形の三大温泉(銀山温泉、蔵王温泉、上山温泉)を制覇。

話題性という意味では銀山温泉がオススメ。大正ロマンあふれる街並みに、100年以上前にタイムスリップした気分になります。

「鬼滅の刃」や「千と千尋の神隠し」の舞台にいるようです。また、蔵王は刺激の強いお湯で、樹氷やスキーでも人気の温泉地。そんな中、一番知名度の低い上山(かみのやま)温

泉が私のお気に入りです。

宿泊したのは「古窯」という古いお宿。ここは昭和26年開業、静けさだけが取り柄」という立地は今も変わりありません。

そんな観光資源の無いところを何故選んだのかというと、その旅館の女将、佐藤幸子さんが米沢出身で亡父と同じ年の有名人だからです。

NHKドラマ「おんなは度胸」のモデルで、昭和4年生れの96歳。今も現役と聞きましたが、宿泊時にはお目にかかれませんでした。今でこそ100室以上ある大きなお宿ですが、創業時の部屋数は7つ。義母からピカピカの金庫と共に、

この金庫に一銭のお金も入らないで渡すというのは、これがない成功してもあなたのせい、失敗してもあなたのせい、わり甲斐があるというもの……」

と言われて継いだのだとか。布田も揃ってなければ、食材も仕入れるお金もなく、女中さんに給料も払えない状況に新しい金庫がうらめしかった。そうです。

それでも女将のおもてなしの心が宿泊者に伝わり、多くの著名人に愛され続けるお宿になっていくのです。

「古窯」の名前の由来は、敷地内から発掘された奈良時代の須恵焼の窯跡から来ています。それにちなんで、ここに泊るとお皿(樂焼)に絵付けできるのです。

夜に絵付けをするとチェックアウト時には焼き上がりです。そして館内には所狭くと有名な人の書いた絵皿が飾られています。石原裕次郎や坂本九夫

妻の感動的エピソードを見ると「俺もここに飾ってもらえるような男になろう!」って思っています。

観光資源が無ければ樂焼体験を売れば良いじゃないかと言われているようです。

どんな立地であろうと、建物や設備が古く、洗練されてなるとも想いと工夫で、なんとかなる!! 接客含め、商売のヒントが沢山詰まっています。良い刺激を頂きました。



↑ 古窯の絵皿



たかの財形事務所

〒819-0374 福岡市西区千里 707-13

☎ 090-3407-2123

<https://www.takanozaikai.com> x-11 fp.takano@gmail.com